

市指定文化財<無形民俗>

ひえがたかぐら
稗方神楽

指定日 昭和49年6月28日

所在地 菊池市稗方



稗方の地名の由来は、この集落が山に囲まれ畑作地帯であったため、稗や粟を主に耕作していたから、という説と、昔、菊池氏に仕える笛の名人がいて笛方さんと呼ばれていたのが訛^{なま}ったという説がある。

稗方では、今からおよそ140年前から今日まで一度も絶えることなく、地元菅原神社の祭日と菊池神社の大祭日に神楽を奉納してきた。この神楽は、阿蘇神社に起源をもつ肥後神楽の流れを汲むもので、素朴な太鼓・笛のリズムに乗せて勇壮な舞が展開される。演舞は奉剣の舞いに始まり、榊の舞、参舞、御幣の舞、弓剣の舞、弓の舞、四剣の舞、歌神楽、二天の舞、地固の舞がある。

以前は年間多くの日数舞われていたが、近年は4月5日と10月15日に菊池神社で、12月21日地元菅原神社で舞われている。今後、後継者不足が悩みの種であるが、これまで伝承され続けている。